

平成20年度滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議

日時 平成21年2月25日(水) 18:00～

場所 滝川市役所9階 第二・第三委員会室

1 開 会

2 挨拶 滝川市長 田 村 弘

3 説明・協議

(1) 前回会議からの経過

(2) 平成20年度における取組み

(3) 今後の取組み

(4) 市内各高等学校の状況について

4 その他

5 閉 会

〔メモ欄〕

(1) 前回会議 (H20. 2. 25) からの経過

平成 20 年 2 月 25 日	「前回検討市民会議」開催
" 4 月 24 日	「第 2 回小委員会」開催 ・「滝川市内高等学校のあり方に関して」の検討
" 5 月 20 日	「第 3 回小委員会」開催 ・「滝川市内高等学校再編に関する検討結果報告書」の決定
" 5 月 22 日	「第 1 回役員会」開催 ・「滝川市内高等学校再編に関するまとめ」の決定
" 5 月 28 日	「滝川市内高等学校再編に関するまとめ」道教委に提言
" 6 月 3 日	道教委「公立高等学校配置計画（案）（H21～23）」公表（資料 1） ・滝川工業高校土木科間口減（平成 23 年度）
" 7 月 8 日	「滝川工業高等学校の活性化を支援する会」発足（資料 2） (※以下「支援する会」と略称使用)
" 7 月 14 日	道教委「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」開催
" 7 月 15 日	市長による空知教育局長訪問・要請 事務局より「滝川工業高等学校活性化プラン」空知教育局へ提言
" 7 月 25 日	事務局より「滝川工業高等学校活性化プラン」道教委へ提言
" 8 月 4 日	飯島衆議院議員へ滝川工業高校土木科維持を要請
" 8 月 5 日	小平衆議院議員へ滝川工業高校土木科維持を要請
" 8 月 17 日	「滝川工業高等学校を支援する集い」開催
" 8 月 19 日	市長、市議会議長、市教委委員長・教育長、支援する会会長連名による要望 行動（資料 3、資料 4） (要望書提出先：道知事・道教委・道議会議長・空知教育局長ほか)
" 9 月 2 日	道教委「公立高等学校配置計画（H21～23）」決定 ・滝川工業高校土木科間口減（平成 23 年度）
" 9 月 10 日	「滝川工業高等学校の活性化を支援する会交付金」補正予算市議会議決
" 9 月 25 日	市議会要望意見書議決（資料 5）
" 10 月 6 日	総務文教常任委員会委員による滝川工業高校視察
" 10 月 10 日	市議会による要望意見書提出行動（資料 6） (要望書提出先：道知事・道教委・道議会議長・空知教育局長ほか)
" 10 月 31 日	市長による空知教育局長訪問・要請
" 11 月 11 日	市長による道教委訪問・要請
" 12 月 1 日	教育長による北海道工業高等学校長会理事長訪問・支援要請
平成 21 年 2 月 13 日	願書出願（変更後）結果公表（資料 7）

(2) 平成20年度における取組み

1. 「滝川工業高等学校の活性化を支援する会」関係

- 「北海道滝川工業高等学校の活性化を支援する地域からの要望書」活動
(7/15～9/2)

署名協力団体数 301団体

・経済団体・建設関係企業等 132団体
(延べ 3, 558構成団体分)

・町内会 167町内会(延べ 14, 883世帯分)

- 「滝川工業高等学校を支援する集い」開催(8/17)

参加者 約120名

内 容 (資料8)

- 報道機関等との連携による広報・周知(資料別添)(7/上～)

- 中学生向けパンフレット作成(10/29)

- 市内中学校における「ものづくり講演会」開催

(12/8 江部乙中、12/9 開西中、12/15 明苑中)

講師 株式会社植松電機 専務取締役 植松 努 氏

演題 「思うは招く～夢があればなんでもできる～」

- 中学校「ものづくり出前授業」の実施検討支援(9/中～)

- 同窓会、工業高校、市教委による連絡会議の設置(9/1～)

- 中学校への体験入学参加要請(9/上)

- 中学校への地域公開授業要請(9/上)

- 滝川工業高校生徒作品展示

(市役所市民ロビー・各中学校・こども科学館)(9/上～)

2. 「滝川工業高等学校」関係

- 空知北学区中学校訪問等PR(7/上～)

- テクノボランティア活動(通年)

※土木科3年生 「環境奉仕大賞」受賞

(北海道高等学校工業クラブ大会 課題研究発表部門)

- 夏休み親子ものづくり体験教室(8/1)

- 中学生体験学習(9/17、30)

- 公開授業(9/24～26)

- 生徒会ボランティア(アルミ缶回収チャリティー活動)

・高齢者福祉施設へのリハビリ用杖等の寄贈(12/15、16)

- 市民向け学校開放講座「パソコン年賀状作成講座」(12/6)

- NPO 法人たきかわホール「駅前広場く・る・る」イベントへの参画(通年)

- 匠の技とふれあう日への滝川工業高校参画(3/14)

(3) 今後の取組み

本検討市民会議においてまとめられた「市内3校体制の維持」を踏まえ、子どもたちにとってより望ましい教育環境の確保や、地域経済・産業の振興の礎として地域の未来を拓く産業人材育成の必要性から、空知管内で唯一の土木科である滝川工業高校土木科の維持は、当面の最重要課題である。

対 策

最優先課題⇒滝川工業高校土木科の入学者数増加（期限：平成22年4月）

目標 20人



工業高校及び支援する会など地域との連携による取組み

1. 中学生、保護者、地域へ向けたPR
 - (1) 工業高校の特色PR
 - ・テクノボランティア活動
 - ・多様な推薦枠による進学への優位性
 - ・不況下でも100%の高い就職率・低い離職率
 - ・就職に有利な資格取得
 - ・充実した校舎、設備
 - (2) 新しい取組みのPR
 - ・市中心市街地活性化事業との連携
 - ・そらぷちキッズキャンプとの連携
2. 市外・学区外へ向けたPR
 - (1) 工業高校への入学者が多い地区への重点的なPR、少ない地区への新規PR
 - (2) 同窓会、PTAとの連携による学校の訪問支援
 - (3) 道内の新たな地区への新規PR
3. 中学校キャリア教育との連携
 - (1) ものづくり講演会の開催（将来の職業観の育成・夢や情熱を持った技術者からの学び）
 - ・JICA（国際協力機構）との連携による講師派遣
 - ・先端技術を持ち情熱的な取組みを行っている企業等からの講師派遣
 - ・地元出身者、滝川工業高校OBなど身近な方による講演
 - (2) 工業高校生徒による中学校出前授業
4. 新たな魅力化
 - (1) 活性化プラン等新たな魅力化に向けた取組み
 - (2) 活性化支援体制の強化
 - (3) 学科転換の実現に向けた取組み
 - (4) 企業等地域の求める人材育成